



社員総会



2015年1月26、27日5年ぶりとなる日本ステージ社員総会が岐阜・下呂温泉 水明館にて開かれました。今回は東西社員が一同に介し、親睦を深め合いながら今の日本ステージが抱えている問題を探り、解決への糸口を見いだす目的のもと開催されました。旅程2日目には世界遺産にも登録されている白川郷の観光も行いました。

セーフティーニュースではその総会の模様をお伝え致します!!



始めに会長から今の日本ステージの現状、売上高の推移等、そして最大の目的であるNS RENOVATIONとして日本ステージの改革をテーマに組織の見直し、社員としての心得を熱弁されました。続いて、社長からのスピーチでは仕事に向き合う姿勢やこれから必要となる人材教育など未来の日本ステージを見据えたお話をされました。

また、世界的セットデザイナーであるマークフィッシャー氏の特集ビデオを鑑賞し、世界に目を向ける考え方の勉強になったかと思います。

中村顧問のスピーチでは前職の経験を生かし、現在日本ステージが直面している安全に対しての問題にどう立ち向かっていくかに焦点を当てました。



設計監理課

安心安全の中核を担う部署として、**・東西の安全技術の統一・安全教育を行う・各会場のレギュレーションに精通する・既存部材の検査、検証を行う・利益を生み出す技術力をもつ・新規部材の開発・確認申請を積極的に売り出す・計算ソフトを活用する**

製作部

製作部は生産性の向上を目的にNC ルーターを購入など、現在外注に頼っているものを自社で行うことを目指します。
 また自社の商品に責任を持つという観点から図面に新たに製作部の検品チェックの項目を増やし、日本ステージブランドの向上を目指します。

技術部

会社の強みという問いには現場での対応力が強い、各部署それぞれ個性のある仕事の方法がありワンパターンではないというおもしろさ、そして自社での開発力があるという意見もでした。
 なぜ仕事が来なくなったかという問いには社員教育ができていないという話がありました。
 これによりベテランが苦勞して身につけたことを後身に伝えて技術を習得して欲しいという意見がありました。
 将来やりたいことに関しては新しい機材の導入、基本部材のメンテナンス、統一化など活発な意見が出ました。

総会では各部署ごとに分かれて分科会の時間を設けました。話し合いの結果を全員の前で発表しました。